



みなみぶらの ボランティアつうしん 5月号(2017年5月2日発行)

ふまねっとにお邪魔してきました！



4月27日に新しい保育所で、ふまねっとが行なわれました。

育児後援会によるもので、皆で集まってふまねっとを楽しみ、育児負担を軽減することが目的とされています。

この日は8名のママさんたちが集まり、お子さんを抱えながら行なう方や小さいお子さんも一緒に行なうなど、とても楽しい1時間弱となりました。

この集まりをきっかけに、いろいろな方にふまねっとを知っていただき、活動の場が広がれば良いな—と思います。

昨年はあまり活動できませんでしたが、今年度はたくさん活動していきたいと思います。



エコキャップの 寄付先変更のお知らせ

この度、エコキャップの寄付先をエコキャップ推進協会から、認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会に変更致しました。

今までは使い捨ての医療機器等に充てるとしてエコキャップ推進協会に寄付していましたが、その集まったお金を人件費に当てているという報道がされたためです。

エコキャップ推進協会公式ホームページでは「ポリオワクチンは足りている」という記事が掲載されていましたが、調べてみたところ、ポリオだけでなく、はしかや結核など様々な感染症のワクチンが不足しているそうです。認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(以下 JCV)はポリオをはじめとする様々なワクチンをユニセフと提携し、寄付している団体です。

☆☆エコキャップがワクチンに換わるまで☆☆

- ①当社協に集まったエコキャップをボランティアさんに仕分けていただく。
- ②仕分け済みのエコキャップをリサイクル業者に送る。
- ③(リサイクル業者が)エコキャップを加工、売却し売却益をエコキャップ1キロあたり3円をJCVへ寄付
- ④JCVに届いた寄付は、ユニセフに国や地域を指定しワクチン等を依頼
- ⑤JCVとユニセフが連携し、ワクチンや医療機器を各国へ提供
- ⑥世界中にあるワクチン製造工場より、冷凍のまま指定された地域に空輸
- ⑦現地の医療スタッフによって町や村のワクチン保管センターへ届けられる
- ⑧ワクチン保管センターからトラックや自転車などで冷凍のまま予防接種会場に届けられる

社協では随時エコキャップやリングフル等受け付けていますので、集まりましたらぜひ社協までお願いします。

